

すいがい じこ み まも 水害や事故から身を守ろう

洪水から身を守るために

川は、私たちに大きな恵み^{めぐ}をもたらしてくれますが、ひとたび洪水^{こうずい}になると、おそろしい姿にかわります。ふだんでも油断^{ゆだん}すると、おぼれたり流されたりする危険があります。

水害^{じこ}や事故から身を守るには、どんなことに気をつければよいか考えてみましょう。

まず、ふだんから川のこわさについて知っておくことが大切です。最近は、どのくらいの雨がふれば川の水かさ^{かわいちよう}がどのくらい



奈良県河合町の防災ハザードマップより

になるか、もしあふれたら、どのあたりまで水につかるかなどの情報じょうほうを見ることができます。そのひとつがハザードマップです。水害がおこりそうな時には、早目ににげることが大切です。

水の事故をふせぐために

前もって川の地形や流れのようすなどを調べておき、無理をしないことが大切です。どのくらいの深さやどのくらいの速さまで安全なのかは、人によってちがいます。川には一人で行かず、できるだけ大人の人について行ってもらいましょう。



ライフジャケット

魚とりやボート遊びなどで深いところに近づく時は、ライフジャケットを身につけましょう。足元も裸足はだしは危険きけんです。くつをはいて、浮き石や、岩のすきまなどに足をとられないように気をつけましょう。

♥ . . . 考えよう・調べよう ♥

- Q 1** かわいちょう河合町では、川がはんらんすると、もっとも深く水につかるころはおよそ何mと予想されているでしょう。
- Q 2** あなたのまちにもハザードマップがあるでしょうか。しらべてみましょう。
- Q 3** 川に行くときはどんなことに気をつければよいでしょうか。